第1章 基本構想(案)

| 1 | KOSAIの理想の姿・2040

2040年のKOSAIの理想の姿を示すことで、湖西の目指すゴールを明確にし、それを実現するために、これからどう動いていくかを計画して、実行していきます。

誰もが住みたくなるまちとして、湖西の人・自然・業などの特徴を活かし、 持続可能な発展を目指します。

1. ひとが集う安心して暮らすことができるまち

都市基盤も整えられ災害に強いまちづくりや防犯を意識したまちづくりがされ、公共施設の利便性向上、空き家等の活用により、市民の憩いの場も増え、多くの人が安全・安心なまちで生き生きと暮らせるようにします。

また、自動運転技術の進歩などにより、公共交通システムが整備され、 子どもから高齢者まで幅広い世代の交通手段となるようにします。



2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できるまち

結婚・出産・育児の相談・サポートが受けられる、子どもを連れて遊びにいける場所の充実、待機児童・入所待ち児童ゼロ・・・安心して子どもを生み、育てる環境を整えます。

誰もが活躍できるまちとしての風土醸成を築きます。



3. 稼ぐ湖西をつくるとともに、安心して働けるまち

豊田佐吉翁のチャレンジ精神を受け継ぎ、また湖西の立地環境の特性を 活かし、ものづくりを中心に様々な産業の活動拠点とします。

そこで生まれたものは、新たな価値を生み、湖西に潤いをもたらしてくれます。

また、教育機関や企業と連携し情報発信を行うことで、就業環境が整ったまちとして認知されるようにします。 ✓ ✓

4. 湖西とのつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

湖西に住むひと、訪れるひと、生まれ育ったひと、様々な国籍のひと、 こども、おとななど、多くの人に様々な湖西の魅力が認知されるようにし ます。

これらのつながりがさらに広がり、絆が生まれ、地域に関わり、結びつく人が増えることで移住・定住へとつながります。



それぞれの理想への考え方

1. 安心安全なまちづくり

- ① まちづくりを自分ごととして考え、防災・防犯を 意識した安心安全なわがまちを実現していく。
- ②常に次世代の公共交通を意識しくらしの利便性を確保していく。

2. 誰もが活躍する

- ①出産・子育てのサポートを整え、こどもにとっても学び 良し、遊び良しの環境を整える。
- ②こどもが次代の担い手として輝けるような人材育成の 仕組みを構築する。
- 3若者・女性・高齢者・外国人が活き活きと暮らすことができるよう、活躍の場を無くすことのないようにする。

3. 稼ぐ湖西をつくる

①市民が豊かになるよう市内で資金が循環する仕組みを検討し実行するとともに、駅周辺の賑わい創出や地域の資源を活用した市外からも資金を獲得できる仕組みを構築する。

4. 新しいひとの流れをつくる

①東京圏への一極集中を是正するため、いかなるときも 湖西の魅力発信に努め、湖西とつながるひとを増やし、 そのつながりを育み、湖西のファンを増やし交流人口 を拡大させる。

2 KOSAIのキャッチフレーズ

ここでは、理想の姿へ向かうためのまちのキャッチフレーズを示します。

第6次湖西市総合計画が目指すまちのキャッチフレーズ

「ひと・自然・業」がつながり 絆広がる わがまち KOSAI

※複数案の中から選択する。

まちのキャッチフレーズに込められた想い

ひと・・・「湖西に住む人、働きに来る人、観光で訪れる人、湖西で生まれた人・・・」 自然・・・「浜名湖、遠州灘、湖西連峰・・・」 業・・・「工業、農業、漁業、商業・・・」

ひとや企業、自然、歴史・文化など、湖西には全国に誇れる財産があります。

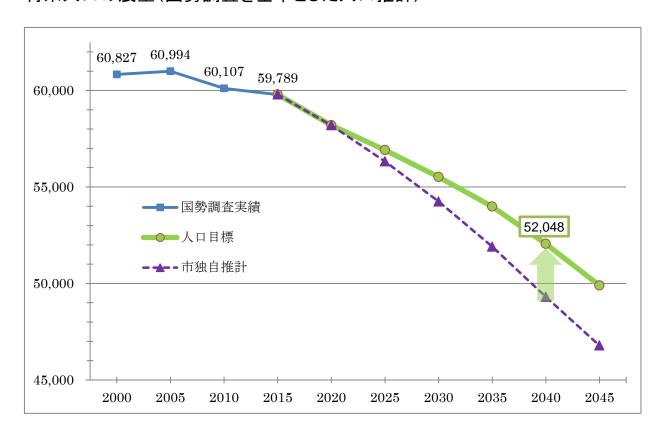
湖西に関わる人々や企業、地域の資源、これらが協力し連携することでつながりが 生まれ、そのつながりが絆となり広がっていきます。

その絆を大切に育てていくことで理想の姿を目指します。

3 将来人口ビジョン

少子高齢・人口減少社会において、湖西市が将来に渡り、活力あるまちとして持続可能な発展を遂げるには、将来の人口展望を示し、目標をもってまちづくりを進める必要があります。人口減少の状況について、共通の認識を持ち、まちづくりについて理解を深めるために将来人口ビジョンを示します。

将来人口の展望(国勢調査を基準とした人口推計)



人口減少が進行するなか、まちの活力を維持し、持続可能なまち、まちの理想の 姿を実現するため、2040年の人口52,000人を維持するために、

- ① 毎年の社会増減をプラスへ!
- ② 合計特殊出生率を1.6以上へ!

を目指します!

市独自推計

近年の住民基本台帳の推移を国勢調査の人口に反映した市独自の推計です。 合計特殊出生率は 1.45 で推移し、社会増減は近年の減少傾向から算定しております。

	2015→2020	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減	▲ 502	▲432	▲ 413	▲371	▲278
出生数	1,929	1,853	1,856	1,782	1,615
(合計特殊出	(1.45)	(1.45)	(1.45)	(1.45)	(1.45)
生率)					
死亡数	3,019	3,300	3,520	3,749	3,936
人口増減	▲1,592	▲ 1,879	▲2,077	▲2,337	▲2,599
推計人口	58,197	56,319	54,242	51,904	49,305

人口目標

社会増減は徐々に改善し、2035年からプラスとなります。

合計特殊出生率は 2025 年までに 1.55 に、2030 年までに 1.60 に回復します。

	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減	▲32	▲21	112	88
(市独自推計からの増加数)	(+400)	(+400)	(+500)	(+400)
出生数	2,046	2,153	2,098	1,920
(合計特殊出生率)	(1.55)	(1.60)	(1.60)	(1.60)
人口増減	▲ 1,286	▲ 1,389	▲ 1,541	▲ 1,933
推計人口	56,911	55,522	53,981	52,048

4 土地利用構想



将来土地利用図の説明

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
0	都市拠点	鷲津市街地の中心部を、すべての市民がサービスを 受けられる施設を集約する都市拠点とする。			
0	地域拠点	新所原市街地、新居市街地の中心部を、その地域 の市民が生活するためのサービスを受けられる施設 を集約する地域拠点とする。			
0	新·産業拠点	工業地のうち、浜名湖西岸地区を新たな雇用を創出し、産業の発展を促進する新・産業拠点とする。			
0	観光交流拠点	湖西連峰、松見ヶ浦、潮見坂、新居弁天、競艇場地区を自然環境を活かした観光、交流の場として、市民や市を訪れる人に快適な時間が過ごせる観光交流拠点とする。			
	市街地エリア	東海道本線の鷲津、新所原、新居町の駅を中心とし た主に住宅、商業の用途の市街地エリア。			
	主要集落エリア	大知波、入出・太田、新所、古見・吉美、白須賀の大 規模既存集落地のエリア。			
	工業エリア	工業を中心として活用していくエリア。			
	自然共生エリア	農業を中心とした用途で、自然と共生して生活してい くエリア。			
	自然保全エリア	恵まれた自然環境を維持・保全するエリア。			
	主要道路	拠点間を結ぶ主な道路や市民生活に必要な主な道路。			
	鉄道	市民の公共交通手段であるとともに、まちの顔となる駅前をつくる。			
	構想道路	ルート検討中の浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)について、IC及びその周辺の土地利用について検討する。			

土地利用の基本方針

〇ひとの交流

- 快適で機能的な住環境を整える。
- ・自然災害に対応した安心な住環境を整える。
- ・拠点間の連携、主要集落エリアからの移動を確保するため、主要道路の整備 や維持管理を優先的に行う。
- ・昼間人口の多い工業エリアと夜間人口の多い市街地エリアを結ぶエリアについて交流を促進できる方策を実行する。

〇自然との共生

- ・浜名湖、遠州灘、湖西連峰など水・緑を守り、将来にわたり共生していく。
- 自然景観に配慮したまちづくりを進める。
- ・自然と共生しつつ、湖西の資源とすべく、その自然をさらに享受できる仕組みや整備を実施する。

〇業(わざ)の創造

- ・産業の需要に応えるよう、必要なエリアを確保する。
- ・効率的な農地の集積を図り、優良農地を保全する。

土地利用の具体的な方針については、次の計画により示します。

- ・湖西市都市計画マスタープラン
- •湖西市立地適正化計画
- •湖西市農業振興地域整備計画
- •湖西市観光基本計画



新居町ベイリーフの住宅地エリア ※検討中(MONET、ジョンボエンチョー付近など)



国道1号バイパス潮見坂の風景



禁津の市街地エリア南側 ※検討中(MONET、ジャンホ・エンチョー付近など)